

京都教区時報

第110号

田中司教認可

毎月1日発行

発行 京都司教区 発行責任者 村上透磨
 編集 京都カトリック教理センター 住所 京都市左京区仁王門通新高倉東入 Tel 761-9095

特集 信徒公聴会に参加して
ネバールからナマステ

神との重大な出会い、臨終の準備をする患者に付添う経験は何度かありました。しかし、昨年十一月私自身の母の死を通して、キリスト者の喜び、真の自由が主の復活の中にあることを体験し、母を想う度にその感動が今もよみがえってきます。

癌症状が進み、医師からもう回復の見込みがないと告げられてから、母は全幅の信頼を神にかけました。もう母は死ではなく新しい生命、永遠の命に生きることを自由に望み、自分自身の苦しみを忘れて、自由に他の人の苦しみを思いやることができました。

私は母の中で何かが起きていることを感じました。それは外でもない。

真のキリスト者の喜びは、主の復活の中にその泉を見い出します。そしてキリスト者の復活はただ死の時に起きたものではありません。日々イエズスを見つめ、イエズスと生命を愛する人、一人ひとりに起こるのです。

神との重大な出会い、臨終の準備をする患者に付添う経験は何度かありました。しかし、昨年十一月私自身の母の死を通して、キリスト者の喜び、真の自由が主の復活の中にあることを体験し、母を想う度にその感動が今もよみがえってきます。

癌症状が進み、医師からもう回復の見込みがないと告げられてから、母は全幅の信頼を神にかけました。もう母は死ではなく新しい生命、永遠の命に生きることを自由に望み、自分自身の苦しみを忘れて、自由に他の人の苦しみを思いやることができました。

私は母の中で何かが起きていることを感じました。それは外でもない。

復活、私たちの喜びの泉

イブ・ボアベール

復活の現実が母の心の中に働いていました。

母は重大な神との出会いを、苦しみの中にも静かに待っていました。私は毎日何時間も母の枕べで、共に話しあとに祈り過しましたが、母は本当の自由を味わっている様に見えました。

「もしイエズス様が私といっしょにいて下さるのなら、神様は死ではなく、生命のためにいらされるのだから死ぬことは不可能です。イエズス様が復活なさったように、私も復活するに決っています。」

そして誰でも主に心を開くものは、日々主がそうして下さいます」と言つてゐる母の声が今も聞えます。

そうです。主イエズスは愛、許し、祈りを私たちに教えられ、また御自身がこの3つのことを実現されました。だからこそ神はイエズスを、死から復活させられたのです。

復活の喜びは、何時も、自由に愛し、許し、祈る心を持つ人の中にあるのです。(聖ヴィアトール修道会司祭)

司祭評議会定例会議報告

2月24日

(1) 聖香油ミサの日の司祭・修道士のつどいについて

毎年聖香油ミサのある日に、司祭・修道士のつどいが開かれますが、今年は、昨年開かれた臨時シノドスに出席された山本襄治師(上智大学神学部長)より会議のもようを聞くことになりました。

山本師の都合で、聖香油ミサを3月25日(火)午後七時半からに変更します。教区の年間予定表では、26日になつてますので訂正して下さい。

(2) 青少年の体験学習について

今まで松本三朗師が、教理センター主催で、青年のための体験学習(行き先・フィリピンのバギオ、インファンタ及び韓国)を5年間行なつてこられましたが、今年から松本師は続けることができなくなりました。しかし、続けてほしいという希望が強いため、マリスト会のオヘール師が、責任を引き継ぐ

ことになりました。但し、行き先はフィリピンのインファンタに限られます。今後は、京都教区青少年委員会の主催で行われ、担当司祭オヘール師にお願いすることになりました。今後とも、皆様のご協力を願いします。

(3) 報告事項としては、50周年委員会よりの報告と、宣教司牧評議会よりの報告と、宣教活動補助金審査委員会よりの報告がありました。

又、2月9・10日大阪管区信徒公聴会が開かれましたが、9月1日～5日には、大阪管区福音宣教司祭研修黙想会があります。今年は、夏の司祭・修道士研修会をとりやめ、そちらに合流することになります。

(文責・滝野正三郎)

司教の
足どり

		2月															
		1日					2月										
		教区創立50周年委員会		KCK会			宣教司教委(東京)		S労組問題			衣笠堅信ミサ、特別聖体奉仕者任命					
		2日(日)	右に同じ。司牧評議事務局会	3日	ネオ代表来訪。	4日	L師來訪	5日	会館内の警備について検討	6日	司祭評議会常任委	7日	宣教司教委(東京)	8日	ローマと電連		
28日	27日	23日(日)	右に同じ。司牧評議事務局会	14日	「こひつじの苑」についての懇談会(子羊・友の会・施設理事代表)	15日	結城師講演会。京都キリストン研究会と夕食懇談	16日(日)	CBS指導者宗教ファーラム及びミサ(於洛星)	17日	「京南司月例会。女子MM総長はか来訪	18日	大阪信徒公聴会(於東洋H)	19日	大阪管区福音宣教司教委(東京)	20日	宣教司牧評議会常任委員会
26日	24日	22日(日)	修女連関西ブロック研修黙想会(貧しさへの招き)比島緊急	21日	南信協員と懇談	22日	聖母カテキスマガジン会誌面談	23日(日)	司祭評議会	24日	ND高卒業式。フォコラーレ代表来訪	25日	聖母カテキスマガジン会誌面談	26日	セントヨゼフ高卒業式。津力トリ保を観察	27日	聖母カテキスマガジン会誌面談



 メモがお
 よこ

一先月号に引き続き、大阪公聴会についてお聞かせ下さい。

遠方から参加される方は、ほどんどが新幹線を使ってこられるので便利なようと、ホテルで開催することにしたのですね。しかし、これには、大阪教区には経済的にたいへんな迷惑になるし、また、私自身もちょっと抵抗を感じました。それで、五司教が集った時、経費をなるべく切り詰めていこうということになりました。たとえば、食事はお弁当にするとかして、いろいろ検討したのです。

それから、分科会の時のことですが、司教・司祭は聞くためにいるのだ、ということで一言もしやべってはいけなかつたのです。私は、その間、ずっと無言でいましたが、同行した某神父なんかは、うずうずしていたらしいですよ。



京都教区時報
ノートルダム教育修道女会
ネパールからナマステ
(こんにちは！)
ノートルダム教育修道女会

中華人民共和国
ネパール
ボカラ
カトマンズ
ダラン
ダマク
イカマ
ビルダ
シッキム
ブータン
ダージリク
パンガラナショ
インド

四人のノートルダム修道会のシスターが、新しい宣教地、ネパールへ発たれてからもう三年になります。(時報86号参照)しばらくぶりに帰国されたSr.イヴァンジエラ今村にネパール生活近況をうかがいました。

「水や電気にさえ不自由な、そしてきびしくも美しい大自然に囲まれたネパール。今はシスターの間での会話にもネパール語がとび出したり、いつの間にかネパール語になつたりの有様。

昨年一月から教区長の司祭と、村人の要請で、カトマンズより西



Sr.イヴァンジエラ今村

四人のノートルダム修道会のシスターが、新しい宣教地、ネパールへ発たれてからもう三年になります。(時報86号参照)しばらくぶりに帰国されたSr.イヴァンジエラ今村にネパール生活近況をうかがいました。

「水や電気にさえ不自由な、そしてきびしくも美しい大自然に囲まれたネパール。今はシスターの間での会話にもネパール語がとび出したり、いつの間にかネパール語になつたりの有様。

昨年一月から教区長の司祭と、村人の要請で、カトマンズより西

へ150km(バスで5時間)更にそこから徒歩で2時間余登りつめた頃上の宿場村バンディープールにノートルダム修道会運営の小学校を開設、二人のシスターが教えています。他の一人のシスターは、カトマンズのセント・メリーエ校(幼稚園・高校)で、パートタイムで働きながら、一方貧しい人々の必要に応えて、編物、洋裁、英語を教えています。

ネパール人の食生活、習慣を紹介すると、食事回数は朝9時頃と夕方の二回。ステンレスの大きいお盆型のお皿に、細長い外米のパラパラのご飯に、ダールという豆汁をまぜ、殆んど野菜ばかりのおかずを入れます。牛のフンと赤土をまぜたもので塗られた台所の土間に、男も女もあぐらをかく座り方で土間におかれた盆に右手を使い何もしやべらずパクパク物凄い量の食事をします。

左手は用便の始末に使うので不淨とされ、物を手渡しする時にも人間は上を見るときりがないですね。自分が何も持っていないと仮定して、生きるのに一番必要なものは何なのか。そこから考えていけたらいいなど、帰国してから決して左手は使いません。

用便を道端でする習慣があり、ネパールに着いた当時は下ばかり見て歩く始末でした。衛生観念があまりないので、洗面所の普及も難しいようです。

「今度二年半振りに帰つて来て、日本の豊さというより、物が多く過ぎると感じました。ネパールでは電気も水も何もないんです。それなのに人々はすごく明るく生活しています。日本人は生活、時間に追われ、何だか疲れている様に感じました。人間はもつと物がなくとも、何が本質かを見て生きられるのではないかでしょうか。日本を出る前はそういう事が当たり前だと思っていましたが、外に出てみると、あるいは眼を外に向けると、日本を見直す事にもなり、自分自身の為にも役に立つことがわかりました。そしてネパールの人達からいろいろなことを学びました。

人間は上を見るときりがないですね。自分が何も持っていないと仮定して、生きるのに一番必要なものは何なのか。そこから考えていけたらいいなど、帰国してから考えています。

これからも四人そろつて元気で活躍されますよう、祈っています。

気軽に ご相談下さい。 タイプ印刷・オフセット印刷 今道印刷 ☎(075)463-6024 京都市上京区御前通一条西入下ル 下堅町152 〒602	=祈りのこもった素朴な味= 送ってよろこばれる 修道院製クッキー ミサ用ブドー酒 (純粋マスカット) 和洋酒 タキノ ☎604 京都市中京区錦小路通烏丸東入 TEL (221)0976-7	車検 カローラクラス サニー 96,250円(全費用) 50余りのマスクミが絶賛!! 新車・中古車も市価より5~15万は安くなります Auto Project 車検代行サービス(宇治教会・松浦博司) 京都営業所 ☎075-612-3504 京都市伏見区桃山町丹後33-87
--	--	--



こんにちはシスター
聖ドミニコ女子修道会

Sr. アデラ南大路

聖ドミニコ女子修道会は、世界各地120余の修道院があり会員は祈り、言葉、生活によつて常にみことばの奉仕者として、人々の神との出会いのために働いておられます。

こうした中で、将来シスターになろうと志す人達の指導を仕事とされているSr.アデラ南大路を、春の陽がいっぱいの京都修道院に訪ねました。



Sr.アデラ南大路

「私の一つの希望は、アジアなどの、貧しい国を見てみたいのですが、時間がなくてね。」

シスターの育てられた若い人達が、社会の中で力強く福音宣教してゆかれますように。

聖ドミニコ修道会シスターズ

聖ドミニコ女子修道会は、世界各地120余の修道院があり会員は祈り、

考へています。今の若い人達が一般信徒と共に働いてくれることを希望しています。

「うちの会は、個性の強い修道

会だと思います。もっともここに入つてくる人が個性的な人なのか

も。個性って言うか、神様がその人を創つている、その人らしさでしようね。」

「私の一つの希望は、アジアな

ど、貧しい国を見てみたいので

すが、時間がなくてね。」

シスターの育てられた若い人達

が、社会の中で力強く福音宣教し

てゆかれますように。

どんな試みしますか?
宗教実践の分かち合い

奈良県司牧評議会

2月16日、大和八木教会において司祭、修道女、信徒ら約200人が集まり総会が行われた。

△テーマ▽

- 1、中高生青少年対策(西大和御所担当)
- 2、社会とのかかわり(大和郡山奈良担当)
- 3、地区集会の充実と見直し

(大和高田登美ヶ丘
大和八木富雄)

- 4、信徒一人一人の自覚(大和八木富雄)
- 過去2年にわたりそれぞれの小教区で取り組んできたことが発表された。

発表されたことのうちで、特記すべきことは次の通り。

- *子供に対する信仰教育で家庭でするべきことと、教会でするべきことをお互いに考え合い、子供達にも教会の中でのいろいろの活動(例えば、街頭募金やバザー、ミサ中の樂器など)に参加させることによって興味を与えた。

*青年会は信者会の付属品でなく主体的なものとなるとの自覚が生まれ、再発見した。

- *教会内に青年の居場所づくりを

考へ、教会へ余り顔を出さない人に教会へ来ることの喜びや神との体験を話せるような体験を持つという意識が生まれて來た。

*養護老人ホームや精薄者のための福祉作業所へ訪問し共に参加することを重ねていくうちに、最初は義務感での参加であつたが、キリスト者としての目ざめから参加するようになつた。

*宣教80周年を記念して一般の人を対象にした講演会やコルベ神父展覧会、アンネ展覧会など開いて、参加者を要理の學習に招き、信徒が信仰体験などの話しをしてきたが、復活祭に受洗する人も出てきた。

これから、がんばるゾ!

大和八木青年会

大和八木教会に青年会が再結成されました。ここ数年のプランクを埋めるべく頑張りたいと思つています。

○ ○ ○

生き生きした青年の活動には教会の明るい未来を感じます。あなたの教会では今、どんな試みや活動しますか? 皆さんの近況を編集部までお知らせ下さい。

* 平和の歩みの取り組みは信徒協、

二、司牧評議会の規約について
1月20日の会議で検討された
ものを整理して了承。

司教からの諮問
第一回ナイス(福音宣教推進全
国会議)について。

その話し合いの結果、信徒と一

一、司牧評議委員会の年間計画
議事
定例評議会
第一回5月10日(土)～11日(日)
第二回11月29日(土)～30日(日)
常任委員会
4月28日(金) 8月8日(金)

六、基本方針と優先課題について
の司教団の回答報告

去る1月28日、近隣小教区連絡
会の名称で、京都市南部地区で働
いている司祭たちが集まり、(1)各
小教区・施設の現状と(2)その中で
司祭は何を大事にしているのかを
分ち合い、(3)近隣小教区・施設と
何か一緒にできることはいかないかを
考えてみた。

次回から、宇治・田辺にも呼び
かけることになった。
尚、2月25日の第2回司祭の集
まりで、4月6日(日)に三教会の司
祭がそれぞれ隣りの教会でミサを
することに決まった。

(文責 西野猛生)

宣教司牧評議会報告



正平協、司祭評、修女連の代表による実行委員会を設け、事務局は順番で担当する事に決定。
* 今年は修女連が事務局を担当する。

四、京都教区宣教活動補助金分配

* 今迄は一定の基準に基づき、教区事務所が担当していたが、補助金審査委員会を司牧評中の小委員会として設置する。委員は司牧評議中より選ぶ、構成及び人選案は事務局で作成する。

五、各組織がかかえている問題を持ちより今後優先的に取組むべき問題の整理について
* 教区レベルの問題でなくとも各組織がかかえている問題を出し合っていく。

* 問題の提出は7月末まで事務局へ。それをまとめ8月8日の常任委員会で検討する。

近隣小教区連絡会 (京都市南部地区)

● 共同司牧への試み
前号で「共同司牧」ということは」と言う記事をお読みくださった事と思う。その一つの試みとして、京都南部の数教会の司祭と信徒代表が集まつて次の様な試みをはじめた。

福音宣教共同体作りを模索している折柄、その一環としても、この様な歩みは喜ばしく、その成功を祈りたい。

総に考え、探していくことが大切ではないかということになり、さつく手分けして信徒と連絡し合うことになった。
2月15日、八幡・桃山・伏見の九条の信徒と司祭が集まり、前記の三つのポイントで話し合った。
互いに分ち合い、協力し合えば、広い視野を持ち、刺激し合つて力になることを学んだ。

共同司牧にしても、どういう形がいいのか判らない。だが机上の計画に陥らないよう、具体的な動きをやりながら探していくこと、また各小教区の今年の行事予定を交換し、参加し合っていくこと、更にこの集まりを継続し、産みの苦しみを分ち合う旅をしていくことを話し合つた。

次回から、宇治・田辺にも呼びかけることになった。

一步一步適正配置へ

信徒公聴会に参加して

日本信徒に見た、十字架を選びとれない苦悩、慘めさ

宮西 ひづみ

(津教会)

*
思想の第一は、司教様方のこれに寄せられるお心が、直接に、とてもよくわかつたこと。

思想の第二は、集つた信徒の誠実な対応——それは九つのグループの話し合いのまとめにみられた共通項『私たち信者の生きざまでいこう』に感じました。この決意の前には他の諸々の提言は福音宣教のための小手先の手段という感さえありました。けれど——

イエズス様の示された選択といふか価値観とあまりにも違うこの日本の社会で信徒は生きています。イエズス様の示される道を選びきれない弱さ、世の流れ(学歴偏重、押金・物質主義、快楽指向……)もつと発言の場、参加の場を与えてほしい(人數的にももつと参加させてほしい)。問題を提示するだけでなく具体的

に抗しきれない情なさをかえ、公聴会などへ出て来ることもない多くの信徒にとって、諸回勅、教書の何というまぶしさ。この教団に属することを誇らしくは思いつつ、反面その指針に従いきれない

韓国やボーランドの信徒の、苦悩を強いられた十字架というなら、日本の信徒の苦悩は誘惑の洪水の

社会の福音化のためにまず信徒自身の福音化、回心を、刷新を：立派な会場で、善男善女の間で交わされる「恵みの言葉」を聞き乍ら、私は、ミサより学習塾を子供に選ばせてしまった友の訴えるような顔を思い出していました。「荒地に蒔いた種を何とか芽を出させよう、命を与えようと工夫すれば水を遣りつけられたのです。そしてその最後の手段があの十字架だつたのです」と説かれた安田大司教様のミサ中のお話を重ねながら。

ただ中につづいて十字架を選びとりきれない慘めさ、とでもいえるでしょうか。

自身の福音化、回心を、刷新を：立派な会場で、善男善女の間で交わされる「恵みの言葉」を聞き乍ら、私は、ミサより学習塾を子供に選ばせてしまった友の訴える



株式会社都営製版所

京都市中京区西院寿町23 (075)312-7829

京都市左京区東山通仁王門下ル 〒606 (075)221-3233(代表)

京都市中京区西ノ京上合町四TEL:075(B)211334

青年からも言いたい 青年や女性が少なすぎる!!

大和八木教会青年

*

●青年や女性の参加が少なすぎてこれでは眞の教会内の内容が伝えきれないのではないかとも思う。

●これから時代を担うはずの青年の意見がとり入れられていない。

的解決策についてもつと考えを深めるべきだと思う。

宣教と社会とのかかわりを持つために各教会で何をすべきか、という方法論をもつと話し合うべきだと思った。

公聴会の出席者の選択についてはどうなっているのか、教えてもらいたい。

あなたの良き隣人として
カトリック御葬儀
貨物一式(仏式可)
聖ヨゼフ葬典社

パウロ 杉下安雄
(西院教会所属)

京都市右京区西院寿町23
(075)312-7829

和洋紙卸

(株)都産紙

京都市中京区三条通富小路東入
〒604 (075)221-3233(代表)

美し印刷

(株)からふね屋

京都市左京区東山通仁王門下ル
〒606 (075)761-1166(代表)



大きな桜や杉の木に囲まれた
小さな教会。「教会所在地」にも
のつてないか。くれ教会。「そん
な教会あつたの」なんて言われ
るけれど、どっこい由良教会は
元気に生きております。何しろ
「絶えざる御助けの聖母」を頃い
てしているのですから。昭和33年に
教会内の保育所が閉鎖されてか
ら、宣教活動は、一時中断され
ましたが、現在は活動再開。皆
様のお役に立っています。夏に
は近くの教会はもとより、神戸、
吹田、名古屋等遠くの方も毎年
由良教会を利用します。又、そ
ろばん教室のために教会を開放。

約55名の子供達は教会へ足を運
ぶ事によつて、始めて神様の事
イエズス様の事を
知りました。未信
者であつても、こ
の子供達を私達ボ
ランティアグル
ープにお与え下さつ

た神様に感謝しながらより良い
宣教活動を進めて行こうという
矢先、「由良教会売却」の話がも
ちあがりました。信者はわずか
8名。その上離れ信者もいる現
在、仕方がないといわれればそ
れ迄ですが、私は思うのです。
神の御子が全く人に顧みられな
い様な所でお生まれになつたよ
うに、誰も期待せず考えもしな
い所に、神の偉大な業が働きか
ける事を思う時、いかに力の弱
い私達の活動であつても、いつ
かはきっと神様のお恵みがある
と信じます。そしてそれが由良
教会発展という希望につながつ
ているのです。クリスマスを三
回経験した子供達の中に、
又子供を通して家族の方に神様
が受け入れられるようにと願つ
ております。イエズス様はいつ
も弱い者の側に立たれ、なぐさ
め励まして下さいました。この
イエズス様の愛に答える為にも
私達は教会売却の話に動搖する
事なく、自信をもつて教会発展
という大きな夢の実現をめざし
て、小さな努力をつみ重ねて行
く決心です。

小さな教会に

夢を託して

由良教会

本田 真起子

大きな桜や杉の木に囲まれた
小さな教会。「教会所在地」にも
のつてないか。くれ教会。「そん
な教会あつたの」なんて言われ
るけれど、どっこい由良教会は
元気に生きております。何しろ
「絶えざる御助けの聖母」を頃い
てしているのですから。昭和33年に
教会内の保育所が閉鎖されてか
ら、宣教活動は、一時中断され
ましたが、現在は活動再開。皆
様のお役に立っています。夏に
は近くの教会はもとより、神戸、
吹田、名古屋等遠くの方も毎年
由良教会を利用します。又、そ
ろばん教室のために教会を開放。

約55名の子供達は教会へ足を運
ぶ事によつて、始めて神様の事
イエズス様の事を
知りました。未信
者であつても、こ
の子供達を私達ボ
ランティアグル
ープにお与え下さつ

た神様に感謝しながらより良い
宣教活動を進めて行こうという
矢先、「由良教会売却」の話がも
ちあがりました。信者はわずか
8名。その上離れ信者もいる現
在、仕方がないといわれればそ
れ迄ですが、私は思うのです。
神の御子が全く人に顧みられな
い様な所でお生まれになつたよ
うに、誰も期待せず考えもしな
い所に、神の偉大な業が働きか
ける事を思う時、いかに力の弱
い私達の活動であつても、いつ
かはきっと神様のお恵みがある
と信じます。そしてそれが由良
教会発展という希望につながつ
ているのです。クリスマスを三
回経験した子供達の中に、
又子供を通して家族の方に神様
が受け入れられるようにと願つ
ております。イエズス様はいつ
も弱い者の側に立たれ、なぐさ
め励まして下さいました。この
イエズス様の愛に答える為にも
私達は教会売却の話に動搖する
事なく、自信をもつて教会発展
という大きな夢の実現をめざし
て、小さな努力をつみ重ねて行
く決心です。

ミサに楽しくあづかる!!

おめでとう助祭誕生!!

セバスチャン 柳本 昭助祭

3月16日(日)に

助祭叙階式を

受けられた柳
本昭助祭を御
紹介します。

印象的な丸



「旅行、絵、特に細細とした

れますようお祈り下さい。

いメガネ、独
特の話しぶりに親しみがわいて
きます。

京神学校で勉強に励まれます。
神の恵みとみなさんの励まし

によつて実り豊かな一年になら
りますようお祈り下さい。



祭壇 ①

礼拝する信心が強まるとともに祭
壇も、キリストを囲む食卓という
場所ですが、主の食卓とも呼ばれるよ
うに、もともとは食卓でした。最
後の晚餐で弟子たちと食卓をとも
にされたキリストが、その記念と
して聖体祭儀を行なうよ

うに命じられました。弟子たちも最初の頃は、最
後の晚餐と同じように一
つの食卓を囲んで共に食
事をしながらミサを祝つ
ていたようです。パウロ
はこの頃のミサの雰囲気をコリン
ト人への手紙の中で描いています。
歴史の推移とともに、ミサの主
の食卓という雰囲気が失われ、御
聖体も、糧としてより、目で見て

事

する現在のやり方を復興しました。

ミサは共に主の会食を囲むという

意味と雰囲気をとり戻すた

めに、司祭と信徒が対面

パチカン第二公会議は

本来の「食卓」という意

味と雰囲気をとり戻すた

めに、司祭と信徒が対面

する現在のやり方を復興しました。

ミサは共に主の会食を囲むという

意味と雰囲気をとり戻すた

めに、司祭と信徒が対面

する現在のやり方を復興しました。

ミサは共に主の会食を囲むという

意味と雰囲気をとり戻すた

めに、司祭と信徒が対面

して、宝塚歌劇、祇園祭りが好き
と言わせてビックリ。だけど、
とても真面目な方です。メガネ
の奥から深く、広い人間性がキ
ラキラ輝いているよう。

(三)

お知らせ



教区スケジュール

4月

4月6日CBS宗教トレーニング(御所)

11月13日京都北丹地区レトルト

18日SVP京都中央理事会

21日京都南部司祭集会

25日教区内管区長会議

26日高野教会堅信式

29日三重信徒大会

南山城地区合同運動会

司祭異動

ウイリアム・エグルストン師

彦根・長浜教会主任

長浜カトリック保育園長
(東京メリノールハウスより)

銀祝おめでとうございます

聖母カテキスマ会姉妹

木戸間玲子(京都ハイム)
鈴木幸子(鈴鹿)

▼ 献金・寄付金の報告

ペトロ横田秋治様(61)

3月2日(日)PM7時

横田志郎師(福知山)令兄

(1)'85年布教の日(10月20日)の献金
一、〇三三、六〇八円は
'85年邦人司祭養成の日(12月1
日)の献金

カトリック中央協議会へ送金

献金総額一、四三三、〇三五円

送金内訳 七二〇,〇〇〇円(中央協議会へ送金)
七二三,〇〇〇円(京都教区へ送金)

(3)メキシコ大震災

救援金第2回送金
献金総額二、一一四、六九〇円

1月20日グワダルペ会を通して、
被害の甚だつたラザロ・カル

デナス市の司教様あてに送金し
ました。

皆様の寛大なご協力を心から感謝

いたします。

●古い時報を探しています

(発題 相馬信夫正平協担当司教)
優先課題をふまえて――
日本司教団の基本方針と

●古い時報を探しています
皆様の御協力により探して
いました。時報も随分そろつて
きました。しかし、まだ第35・

36・37・46・48号が見つかり

ません。どなたかお持ちの方、
その一部でも結構ですので保

存されていましたら編集部ま
でぜひご連絡下さい。

▼切 4月15日まで

▼問い合わせ先 希望の家

正宿泊は個室ではありません

正宿泊は個室ではありません

♦もつと女性と青年の声をと記事
が出ていますが、大体、独身のオ
ジサンばかりで物事を決めて行く社
会なんて異常と思いませんか。(三)

♦コミュニケーションと復活。その
つながりを考えたことがあります
か。つながりあってこそ信仰。福音

宣教、共同体、神の国への成長。(Y)

♦二年ぶりに大阪に行った。高層
ビルが幾つも建ちすっかり様子が
変っていた。この時代の流れの速
さ、教会も遅れないよう。(む)

♦最近、カトリック新聞からよく
電話がかかってくる。全国からも
教区時報は注目されていることを

皆様にお伝えしておきます。(よ)

♦京都も知事選。グリーンやオレ
ンジが町中になふれてきたよう。

私達の一票がいろいろなところに
反映していくのですね。(い)

♦京都も知事選。グリーンやオレ
ンジが町中になふれてきたよう。

私達の一票がいろいろなところに
反映していくのですね。(い)

P7 第109号(3月号)訂正とお詫び

大斎・小斎を守る人
(満21才) → (満18才)

P7 教えてサロモンさん
(満21才) → (満18才)

フライリビングのタオル申込み
電話番号の間違い

